

AHD200万画素 屋外用カメラ
(オートフォーカス&ズーム、赤外線投光)



TR-H210VZ

取扱説明書(保証書付)

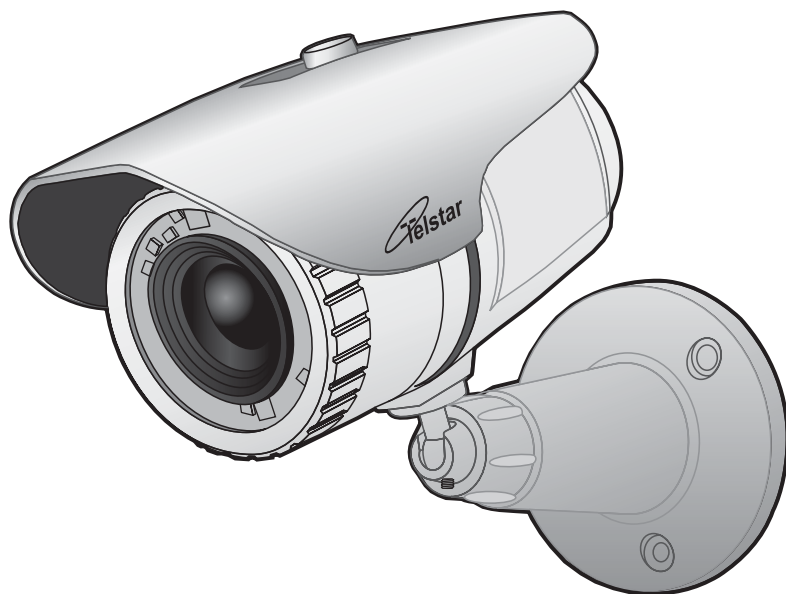
Full HD
1080

AHD

UTC

CVBS
960H

アナログ



この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 電源を入れる前に、この説明書をよくお読みになってからご使用ください。
- この説明書は大切に保管していただき、必要なときにお読みください。

特長

- 2.4 メガピクセル CMOS センサー搭載
- AHD2.0 対応 Full HD（フルハイビジョン）の高解像度映像（1920×1080）
- 既設のアナログ(CVBS)カメラ配線を活かしながらFull HD画質でモニタリング可能
- 光学 3.5 倍、デジタル 8 倍（最大 28 倍）ズーム機能
- 設定した画像範囲に動きがあると自動的にズームインする スマートズーム機能※1
- 水平画角約 89° ～ 34° のバリフォーカルレンズ搭載
- アナログ(CVBS)映像出力端子搭載により、アナログレコーダーやモニターテレビにもAHDコンバーター無しで接続可能
- 赤外線投光距離約 15 ～ 20mの夜間撮影が可能（白黒映像）
- 明暗の差の激しい被写体も自然に映せる WDR（ワイドダイナミックレンジ）機能
- 夜間時などのノイズを軽減する NR（ノイズリダクション）機能
- 赤外線照射による白とびを被写体に合わせて調整する スマート IR 機能※1
- 映像の一部を隠しプライバシーに配慮する プライバシーマスク機能※1
- 霧・雨などの天候の影響を少なくする フォグ緩和機能※1
- 映像の変化をお知らせする モーション機能※1
- AHD映像出力端子使用時、UTCコントローラー UT-H02(別売)やUTC対応 AHD 2.0レコーダー（市販）でメニュー操作可能
（アナログ(CVBS)映像出力端子使用時は不可）※2
- 防水仕様（IP66 相当）で屋外に設置可能
- 天井・壁面どちらにも設置が可能

※1 お買い上げ時の状態（初期値）では機能しません。

※2 オプションのUTCコントローラー UT-H02(別売)やUTC対応AHD2.0レコーダー（市販）使用で、カメラの設定を屋内のモニターテレビにて変更できます。

■ お知らせ

- ・本書の操作手順や画面表示は、本機のお買い上げ時の状態（初期値）に基づいて記載しています。
- ・設定を変更した場合は、操作手順や画面表示が異なる場合があります。
- ・本書に掲載している画面やイラストはイメージです。実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- ・本書の記載内容は、将来、予告なしに変更する場合があります。

もくじ

お使いになる前に

本機にはAHD2.0専用のAHD映像出力端子と、アナログ(CVBS)映像出力端子が備わっております。各機器にあわせて接続をしてください。

特長	02
もくじ	03
安全上のご注意	04
カメラについて	06
各機器との接続について	07
箱を開けたら、まず確認	08
設置をする前に	09
各部の名称	10
カメラの接続方法	11
カメラの設置方法	12
手動でのズームとフォーカスの調整	16

設定

お買い上げ時の状態(初期値)で標準的な設定は済んでいます。必要に応じて、カメラから伸びたケーブル上の十字キーボタンか、オプションのUTCコントローラーUT-H02(別売)やUTC対応AHD2.0レコーダー(市販)を使用して設定を変更します。

設定、こんなときどうする?	17
メニュー表示	18
レンズ	20
露光	22
WDR/ 逆光補正	24
ホワイトバランス	26
DNR	28
デイ / ナイト	30
イメージ	32
効果	34
システム	40

製品情報・その他

仕様	42
外形寸法図	43
別売りオプション	44
困ったとき	45
保証書	48

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

 警告	この警告事項に反した取り扱いを すると、人が死亡または重傷を負う 可能性があることを示します。	 してはいけない内容 です
 注意	この注意事項に反した取り扱いを すると、人が傷害または物的損害を 負う可能性があることを示します。	 実行しなければなら ない内容です

 警告	
 ■ 水没させない 火災、感電、けがの原因になります。	 ■ 雷が鳴ったら本体や電源プラグ、ACアダプターに触れない 感電の原因になります。
 ■ 分解・改造・修理はしない 火災、感電の原因になります。	 ■ 異物が入ったときは使用を中止する そのまま使用すると火災、感電の原因になります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
 ■ 異常な状態で使用しない (発熱、発火、発煙、異臭、異音がするなど)火災、感電の原因になります。 すぐに電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。	 ■ 落としたり、破損したときは使用を中止する そのまま使用すると火災、感電の原因になります。 すぐに電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。
 ■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100V以外での使用はしない たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。	 ■ 電源プラグやACアダプターは根元まで確実に差し込む 差し込が不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
 ■ 電源プラグやACアダプター、コードなどに水をかけたりしない 感電の原因になります。 ぬれた場合は、すぐに電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。	 ■ 電源プラグやACアダプターのほこりは定期的にとる プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災、感電の原因になります。 プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
 ■ 電源プラグやACアダプター、コードなどを破損しない (傷つける、加工する、無理やり曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を乗せる、加熱するなど)傷んだまま使用すると火災、感電、けがの原因になります。 電源プラグやACアダプター、コードなどの修理は販売店にご依頼ください。	

⚠ 注意



■ 不安定な場所や振動の多い場所 には設置しない

(ぐらつき、傾きのある場所)落下などにより破損やけがの原因となります。



■ 湿気の多い場所、結露が発生 しやすい場所に設置しない

(風呂場、台所や水まわりなど)
結露しますと電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。温度差により結露(水滴)が発生しやすくなります。



■ 高温になる場所に設置しない

(直射日光の当たる場所、車のトランク、ダッシュボードなど)機器の変形、電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。



■ ヒーターなどの熱器具の近くに 設置しない

コードが溶けて火災、感電の原因になります。



■ 埃の多い場所に設置しない

火災、感電の原因になります。



■ 機器に重いものを置いたり引 っ掛けたりしない

落下などにより破損やけがの原因となります。



■ コードを引っ張らない

電源プラグやACアダプターを抜くときはコードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



■ 機器の重量などを満たす強度で 設置する

落下などにより破損やけがの原因となります。



■ 取り付けや配線を行う場合は 必ず電源を切る

感電の原因となります。

使用上のお願ひ

ご利用の際、下記の影響を複合的に受けた場合、機器の仕様(耐久性)の限度を超える場合がございます。設置の際に配慮をお願いします。

- ・ 直射日光などによる影響
- ・ 夏の高湿などによる影響
- ・ 降雨、強風、突風、台風などによる影響
- ・ 冬の低温、湿気、結露などによる凍結、積雪などによる影響
- ・ 塵、ホコリ、土、砂などによる影響
- ・ 海風などによる塩害の影響
- ・ 虫や動物、またそれらが出す有機物(糸、毛、抜け殻、糞、尿、体液、かじりかす、死骸その他)による影響
- ・ 熱源などによる影響
- ・ 特殊環境による液体や気体などによる影響
- ・ その他機器に有害な影響を及ぼすもの

プライバシー、肖像権について

防犯機器の設置や利用は、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

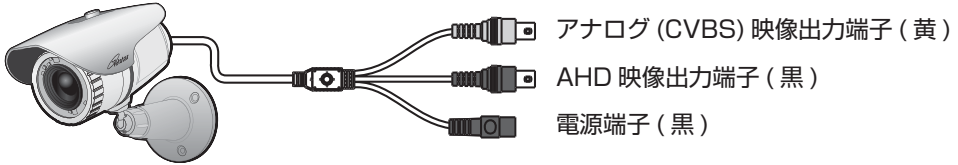
※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容貌、姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

免責事項

- 本製品は、盗難防止器具・災害防止器具ではありません。本製品の動作の正常・異常にかかわらず、犯罪・事故が発生した場合の損害については、当社は一切責任を負いません。
- 製品の設置(取り付け・取り外しなど)により生じた建物などへの損傷やその他の損害について、当社は一切責任を負いません。
- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。

カメラについて

TR-H210VZ は、2 つの映像出力端子を持つ AHD・アナログ(CVBS) 両用タイプのカメラです。



【AHD とは？】

Analog High Definitionの略で、アナログ配線でハイビジョン画質の監視が可能になる防犯・監視カメラシステムです。AHDには1.0と2.0があり、本機はAHD1.0 (1280×720) から更に進化したAHD2.0 (1920×1080) を採用しています。従来のアナログ (CVBS) カメラをご利用の場合、既設の配線をそのまま利用でき、コストを抑えた機器の入れ替えが可能です。

【アナログ(CVBS)とは？】

コンポジット映像信号 (Composite Video, Blanking, and Sync) の略です。これまでのアナログ (CVBS) カメラが該当します。

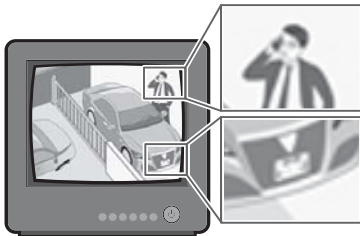
【弊社製品例】

VK-P600X・TR-858WCP・
TR-857WCP・TR-855WCP・
TR-204C・TR-2700WDI・
TR-2500DI

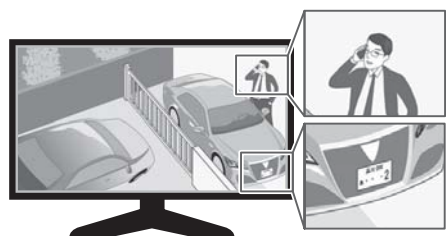
【AHD とアナログ(CVBS)の映像の見え方の違い】

AHD2.0カメラはアナログ (CVBS) カメラの約4倍の解像度のフルハイビジョン画質で映し出すことができます。画面は横長16:9となっています。

アナログ(CVBS)カメラ(50 万画素以下)



AHD2.0 カメラ(200 万画素)

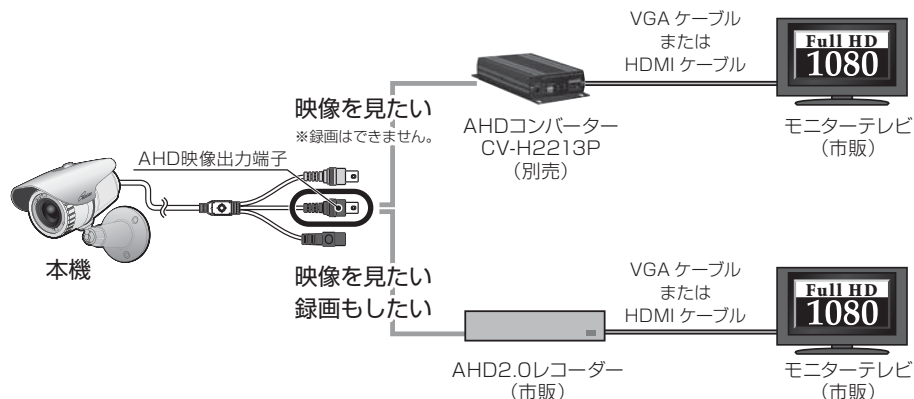


画像はイメージです。

各機器との接続について

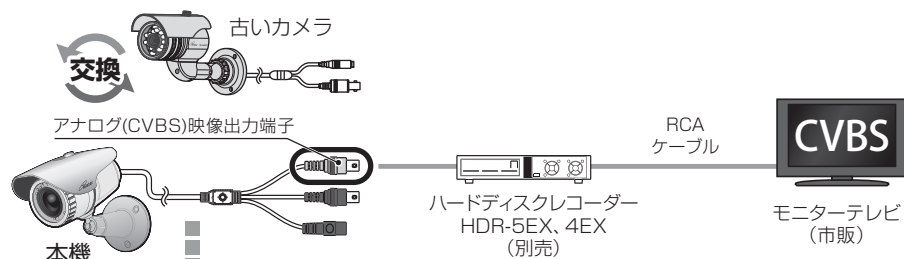
新規

200 万画素のフルハイビジョン映像で見たい・録画したい。

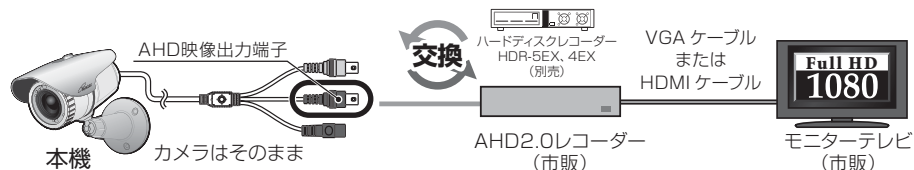


入替えまたは増設

今使っている録画機器はそのまま既設のケーブルを活かし、カメラを入替えたい、または増設したい。



さらに将来フルハイビジョン映像のシステムに切り替えたい場合は、AHD2.0 レコーダーへの入替えと、カメラの接続端子を差し替えるだけ。



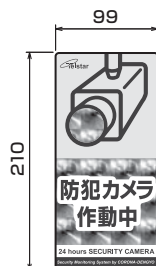
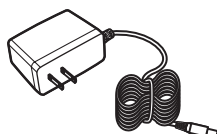
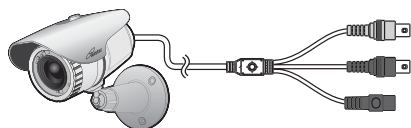
※他社 AHD レコーダーとの接続について全ての互換性を保証するものではありません。

画像はイメージです。

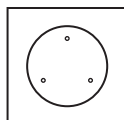
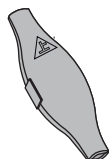
箱を開けたら、まず確認

本機をご使用いただく前に、すべての付属品が入っていることをご確認ください。
不備な点がございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

- ☐ カメラ本体
(ケーブル長 約0.8m)×1
- ☐ シェード(本体装着済)×1
- ☐ ブラケット(本体装着済)×1
- ☐ ACアダプター
(ケーブル長 約1.5m)×1
- ☐ 防犯ステッカー
(99×210mm)×1



- ☐ 十字キーボタンカバー
×1
- ☐ 取扱説明書
(保証書付き)×1
- ☐ テンプレート
×1
- ☐ クリーニングクロス
×1



小袋内容

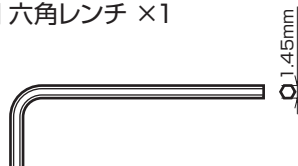
- ☐ 取付ネジ ×3



- ☐ コンクリート
アンカー ×3



- ☐ 六角レンチ ×1

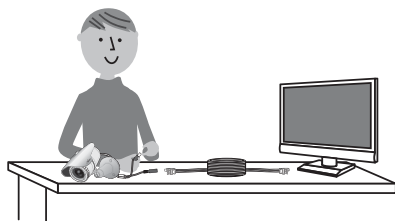


※六角レンチは付属品をご使用
ください。

設置をする前に

■カメラの仮接続

カメラとケーブル(別売)を仮接続します。
接続方法は**カメラの接続方法**をご覧ください。
▶11ページ



■映像の確認

映像を見るには、テレビのリモコンの『入力切替』ボタンを押し、カメラを接続したAHDコンバーター(別売)またはAHD2.0レコーダー(市販)の映像画面に切り替えます。

※詳しい操作方法はお手持ちのテレビの取扱説明書をご覧ください。

※映像の色調はご使用のモニターテレビや光源(太陽光、各種照明機器など)の状況により変化します。

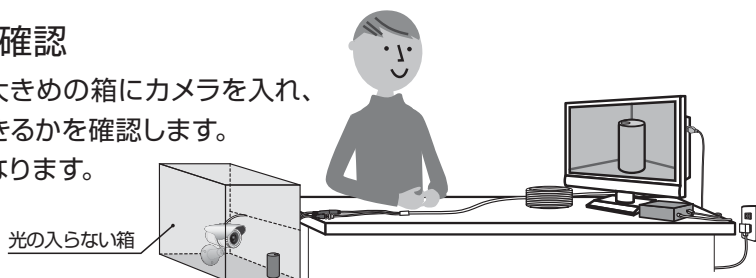


□映像が映らない時……

接続ケーブルがAHD映像出力端子またはアナログ(CVBS)映像出力端子のどちらかに間違いなくしっかり接続されているか、AHDコンバーター(別売)またはAHD2.0レコーダー(市販)が正確に設定されているか、もう一度確認してください。各機器の規格がカメラに対応しているかご確認ください。
▶46ページ

■暗視撮影の確認

光の入らない大きめの箱にカメラを入れ、
暗視撮影ができるかを確認します。
映像は白黒になります。



■カメラは絶対に開けない

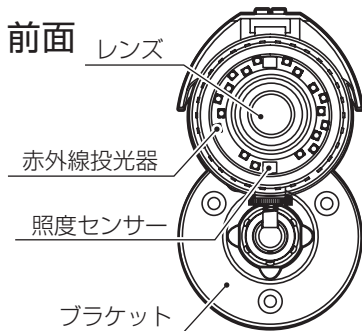
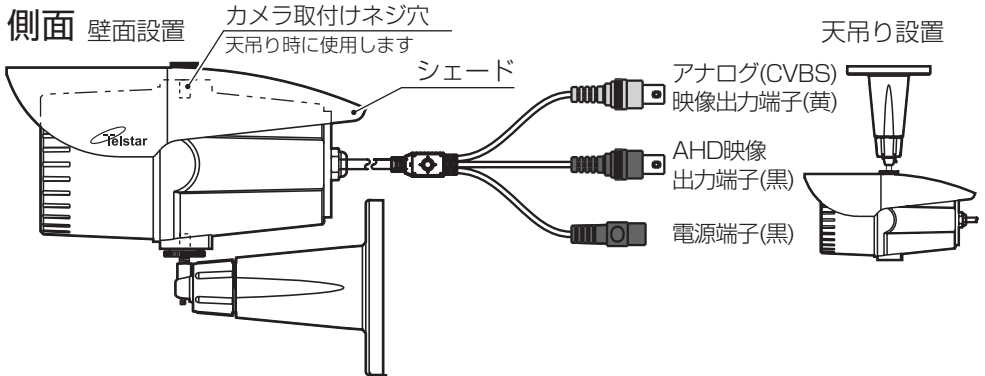
この●●シールは製造上のものです。
絶対に開けないでください。
故障の原因となります。

開封禁止

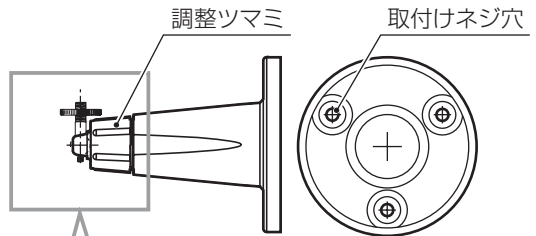


写真・イラストはイメージです。

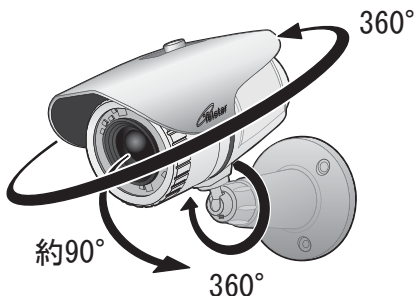
各部の名称



ブラケット

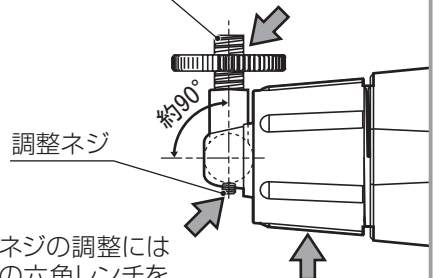


■ブラケットの可動範囲



カメラ取付けネジ
(1/4-20UNC)

カメラとブラケット
を脱着する際に使用
します。

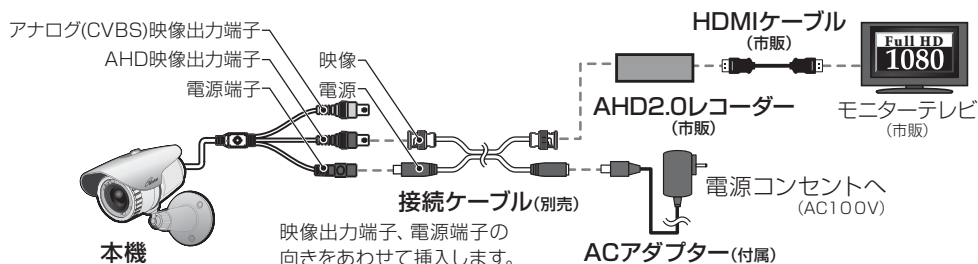


調整ネジの調整には
付属の六角レンチを
使用します。
※ネジを紛失しないよう
ご注意ください。

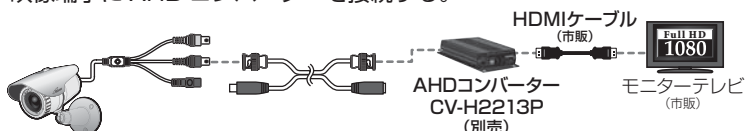
調整ツマミで
カメラの方向
を調整します。

カメラの接続方法

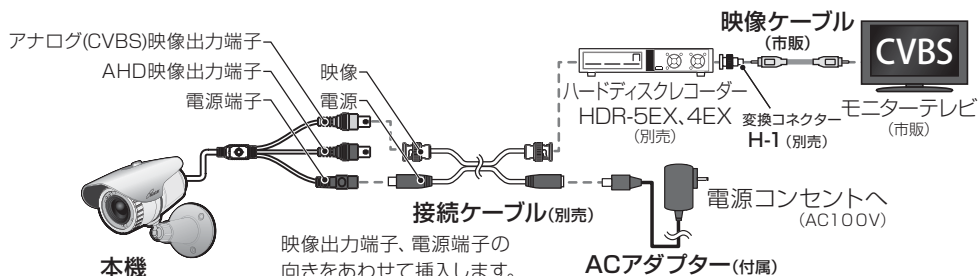
新規 AHD2.0 レコーダーに接続する場合(録画する)



モニターテレビへ接続する場合(録画しない)は接続ケーブルの映像端子に AHD コンバーターを接続する。



入替えまたは増設 今使っている録画機器に接続する場合(録画する)

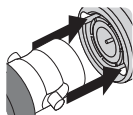


モニターテレビのビデオ入力端子に接続する場合(録画しない)は映像ケーブルを接続する。

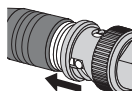


●映像出力端子(BNC端子)の接続

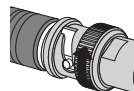
1. 図のように端子の突起を溝にあわせてます。



2. 奥までしっかり挿し込みます。



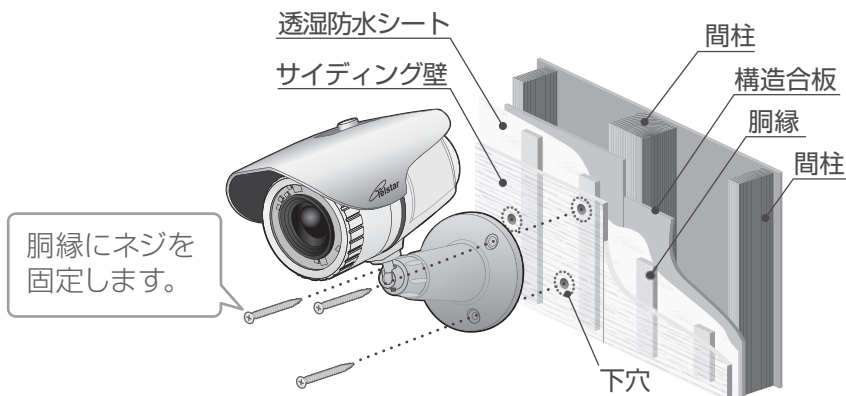
3. 端子を押し込みながら、止まるまで右にまわします。



カメラの設置方法 ①

■設置面の強度の確認

設置面が本体や取付金具などの重量に十分耐えられるかをご確認ください。
※十分な強度がない場合、落下して怪我の原因となります。



■必要な工具



キリ



ドライバー

ドライバーは No.2
を使用します。



脚立



自己融着テープ

※ご使用の際は転落に
ご注意ください。

防水処理には必ず自己融
着テープを使用します。

自己融着テープと塩ビテープのちがい

塩ビテープは巻きつけ時に重なった部分にどうしてもわずかな空間ができますが、自己融着テープは粘着層のゴムが溶けて密着するため、わずかな空間も埋め尽くし防水効果を発揮します。また、空気も遮断するため、腐食を防ぐ効果があります。

自己融着テープ(市販)の巻き方



全ての端子の
接続部分を完全
に隠すように
巻きつけます。



■ 自己融着テープは十字キーには巻かない

十字キーのボタンが押されたままになると誤作動の原因になります。



自己融着テープ

写真・イラストはイメージです。

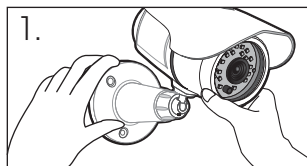
カメラの設置方法 ②

■カメラの取付けと調整

本機の設置や接続を始める前に必要な周辺機器やケーブルを準備してください。
接続する前に本機や接続する機器の電源を切ってください。

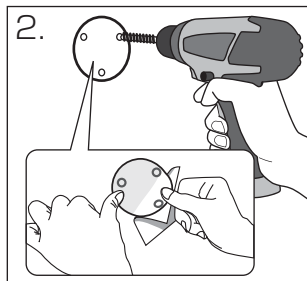
1. 設置場所の確認

- 1. 本機を設置したい場所に仮置きし、撮影範囲の映像を確認しながら、設置場所を決定します。



2. 下穴を開ける

- 2. ドリルなどでφ3mm程度（付属の取付ネジを使用する場合）の下穴を開けます。
※付属のテンプレートを使用すると便利です。
下穴を開けたらテンプレートをはがします。



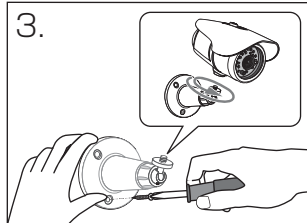
3. ブラケットの固定

- 3. 取付ネジでブラケットをしっかりと固定します。



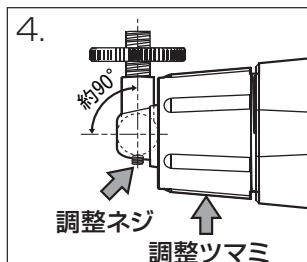
ドライバーはNo.2を使用します。

- ※カメラ本体を外すと固定しやすくなります。
- ※本体を落とさないようご注意ください。
- ※コンクリートの壁面などに設置する場合は
コンクリートアンカーをご使用ください。
- ※ネジを紛失しないようご注意ください。



4. カメラの向きの調整

調整ツマミでカメラの向きを調整します。付属の六角レンチで調整ネジを緩め、カメラの角度を調整後、調整ネジをしっかりと締めます。



調整ネジの調整には
付属の「六角レンチ」を
使用します。

※ネジを紛失しないよう
ご注意ください。



■ 設置面の強度を確認する

取付ける際は本体、取付金具などの重量が十分耐えられるかご確認ください。十分な強度がない場合、落下して怪我の原因となります。



■ 撮影映像を確認する

至近距離にある軒や壁面が映りすぎると、夜間時の撮影映像に支障をきたす場合があります。



■ 定期点検をする

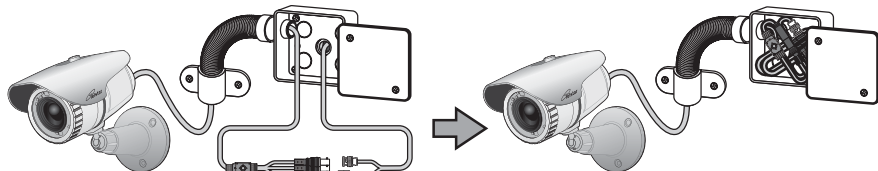
カメラは定期的に点検をおこなってください。カメラの角度調整の際は砂埃や塵などを除去してから再調整をおこなってください。

カメラの設置方法 ③

■コネクタ接続部と十字キーボタンの防水処理のお願い

屋外で使用しているカメラのコネクタ接続部や十字キーは必ず防水処理をしてください。

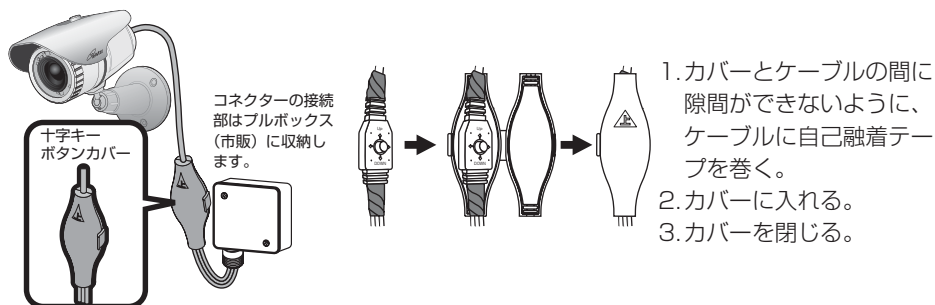
防水ボックスの使用例



ボックス内で配線をつなげます。

配線がスッキリととまります。

十字キーボタンカバーの使用例

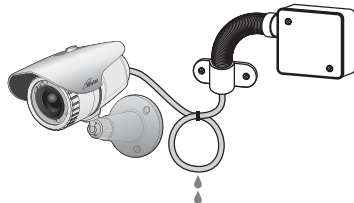


自己融着テープ(市販)の巻き方



端子の接続部分を防水ボックスなどに入れない場合は完全に隠すように巻きつけます。

ケーブルの取り回し



雨水がケーブルをつたい入り込まないように、引き込む手前でU字にたまるませたり、結束バンドで丸く束ねます。



自己融着テープは十字キーには巻かない

十字キーのボタンが押されたままになると誤作動の原因になります。



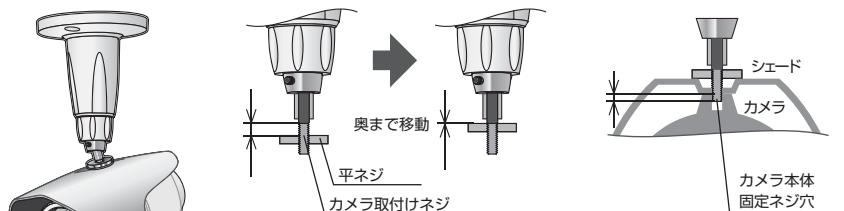
自己融着テープ

写真・イラストはイメージです。

カメラの設置方法 ④

■天吊り設置時のご注意

シェードはカメラ取付ネジでしっかりと固定してください。



1. 平ネジをカメラ取付ネジの奥まで移動します。
2. カメラ本体の固定ネジ穴へねじ込みます。

■防犯ステッカーで防犯効果をUP!

ステッカーを貼ることで「監視されている」という心理的作用により犯罪行動を抑止する効果があります。※ステッカー1枚付属。

防犯ステッカーの
詳しい情報は



シェードのカメラ取り付けネジをしっかりと固定する

締め方がゆるいと落下事故の原因となります。



写真・イラストはイメージです。

手動でのズームとフォーカスの調整

十字キーボタン、UTC コントローラー UT-H02(別売)、UTC 対応 AHD2.0 レコーダー (市販) で手動でズームとフォーカスの調整ができます。

アナログ(CVBS)出力端子に接続した映像は十字キーボタンでのみ変更できます。対応表をご確認ください。

対応表	AHD出力端子(黒)	アナログ(CVBS)出力端子(黄)
十字キーボタン	○	○
UTCコントローラー-UT-H02(別売)	○	—
UTC対応AHD2.0レコーダー(市販)	○	—

ズームの調整

カメラ側



十字キーボタンを
略図で表します。

モニター側

ズームイン

1.上ボタンを押す

⇒ズームインを開始します。

2.映したい範囲で決定ボタン押す

⇒フォーカスを自動調整します。

ズームアウト

1.下ボタン押す

⇒ズームアウトします。

2.決定ボタン押す

⇒フォーカスを自動調整します。

※スマートズームがオンの時は動きを検知した後に、ズームアウトした状態に戻ります。
スマートズームとの併用はおすすめしません。

スマートズームについては“効果”→

“スマートズーム”をご覧ください。



フォーカスの調整

ピントが合っていない場合はフォーカスの調整ができます。

1.左ボタンまたは右ボタンを押す

⇒被写体にピントを合わせます。

イラストはイメージです。

設定、こんなときどうする？

目的から必要な設定ページを探すことができます。

お買い上げ時の状態(初期値)で標準的な設定は済んでいます。

必要に応じて設定を変更します。

設定を お買い上げ時の状態(初期値) に戻したい

⇒“システム”⇒“カメラ初期化”を選択

▶40ページ

逆光で被写体が暗いので見やすくしたい

⇒“WDR/ 逆光補正”

▶24ページ

画角を変更したい

⇒“手動でのズームとフォーカスの調整”

▶16ページ

スマートズーム機能の設定をしたい

⇒“効果”⇒“スマートズーム”⇒“オン”

▶34ページ

映像が暗いので明るくしたい

⇒“露光”⇒“輝度”

▶22ページ

映像のざらつきを抑えたい

⇒“DNR ”

▶28ページ

夜間の映像の白とびを抑えたい

⇒“デイナイト”⇒“赤外線同調”または“B/W”

⇒“赤外線オプティマイザ(スマート IR)”

▶30ページ

映像を左右や上下反転したい

⇒“イメージ”⇒“ミラー”/“フリップ”

▶32ページ

映像に変化があった時に知りたい

⇒“効果”⇒“モーション表示”

▶36ページ

映せない場所を隠したい(プライバシーに配慮したい)

⇒“効果”⇒“プライバシー”

▶38ページ

設定を保存したい

⇒“終了”を選択。

決定ボタンを押す。

メニュー表示 ①

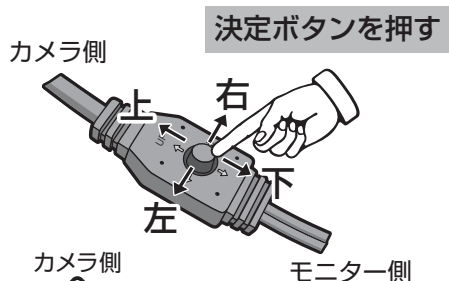
お買い上げ時の状態（初期値）で標準的な設定は済んでいます。必要に応じて設定を変更します。十字キーボタン、UTCコントローラーUT-H02（別売）、UTC対応AHD2.0レコーダー（市販）で設定します。

モニターテレビにメニュー画面を表示するには、カメラをAHDコンバーターCV-H2213P（別売）または、AHD2.0レコーダー（市販）に接続し、カメラ映像が映る状態にしておく必要があります。

※設定はAHDレコーダーでもできますが、十字キーボタンとUTCコントローラーにて説明します。

メインメニューの表示方法

十字キーボタンで操作する場合



UTCコントローラー（別売）を使用した場合



※詳しくはUTCコントローラー（別売）の取扱説明書をご覧ください。

メニュー		
Q	レンズ	マニュアル ←
☀	露光	←
●	WDR/ 逆光補正	D-WDR ←
●	ホワイトバランス	ATW
□	DNR	←
☾	デイ / ナイト	赤外線同調 ←
■	イメージ	←
☒	効果	←
※	システム	←
🔒	終了	←

取扱説明書の使い方

十字キーボタンの操作方法を記号で説明します。



上下ボタンを操作します。



左右ボタンを操作します。



決定ボタンを押します。

メニュー表示 ②

レンズ

▶20ページ

レンズの明るさの設定をします。

露光(露出補正)

▶22ページ

周囲条件の明るさの変化に対して画面の明るさが一定となるように露出補正の設定をします。

WDR(ワイドダイナミックレンジ機能)/ 逆光補正

▶24ページ

逆光時などの明暗の差の激しい場合に補正方法の選択と詳細設定をします。

ホワイトバランス

▶26ページ

ホワイトバランス(光源による白の違いを補正)の方法の選択と詳細設定をします。

DNR(デジタルノイズリダクション)

▶28ページ

夜間など低照度撮影時のノイズ(ざらつき)をデジタル処理によって低減させるDNR(デジタルノイズリダクション)の選択と設定をします。

デイ/ナイト

▶30ページ

明るい昼間は特徴を捉えやすいカラーで撮影し、暗くなると自動的に白黒映像に切替わり感度を上げて撮影できる、デイ & ナイト機能の選択と設定をします。

イメージ

▶32ページ

シャープネスや彩度など画質の調整と上下反転や左右反転の画面の設定をします。

効果

▶34ページ

設定した画像範囲に動きがあると自動的にズームインするスマートズーム機能、映像の一部を隠しプライバシーに配慮するプライバシー機能、霧・雨などの天候の影響を少なくするフォグ緩和機能の設定をします。

システム

▶40ページ

解像度やフレームレートの切替、カメラをお買い上げ時の状態(初期値)にします。

終了

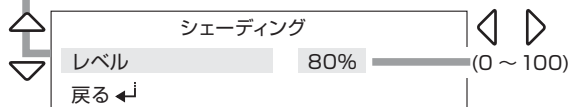
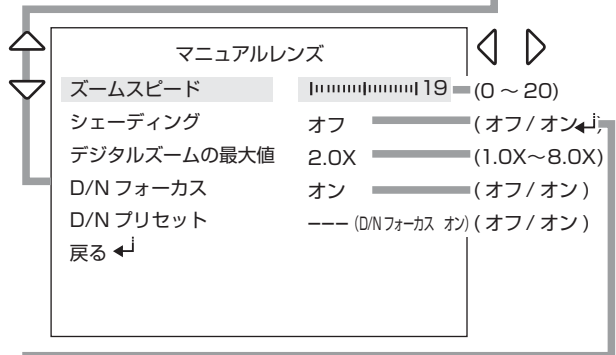
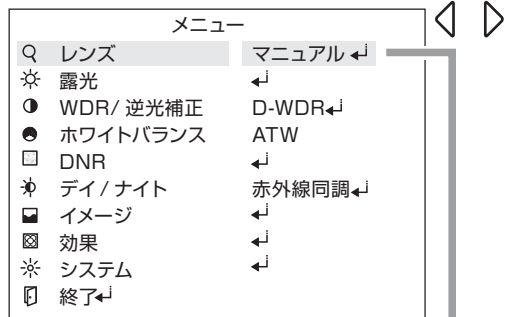
カメラ画面に戻ります。

レンズ ①

レンズの明るさの設定をします。



1. 決定ボタンを押す
⇒メニューを表示します。
2. 《マニュアル》を
選択したまま
決定ボタンを押す
⇒次の画面を表示します。
3. 左右ボタンで項目または
数値を選択
4. 決定ボタンを押し、
設定を確定します。



【設定を終えるには】

《戻る↵》

⇒前のメニューに戻ります。

《終了↵》

⇒設定を保存し終了します。

項目・数値は、お買い上げ時の
状態(初期値)です。

レンズ ②

マニュアル

●ズームスピード

手動でズームを変更するときのスピードの調整をします。0(遅)～20(速)

●シェーディング

LSC(レンズシェーディングコンペンセーション) 機能は画面中央と周囲の明るさの差を補正する機能です。オンにすると中心部と比べて暗くなりがちな周囲の明るさを補正し、全体的に見やすく画像を表示します。オン/ オフから選択。

●デジタルズームの最大値

デジタルズームを使用した際の最大値を設定をします。1.0X～8.0X(0.1 刻み)
※デジタルズームは画像を引き伸ばし切り抜いて拡大するので、倍率が高くなるにつれ画像が劣化します。

●D/N フォーカス

デイ & ナイト時の自動ピント合わせ機能を有効または無効にします。
オン/ オフ (D/N プリセットがオンの時は ---)
※通常はオンで使用してください。

●D/N プリセット

デイ/ ナイトそれぞれのズームやピント合わせの設定を保存できます。
オン/ オフ (D/N フォーカスがオンの時は ---)
※通常はオフで使用してください。

●戻る

メニュー画面に戻ります。

露光 ①

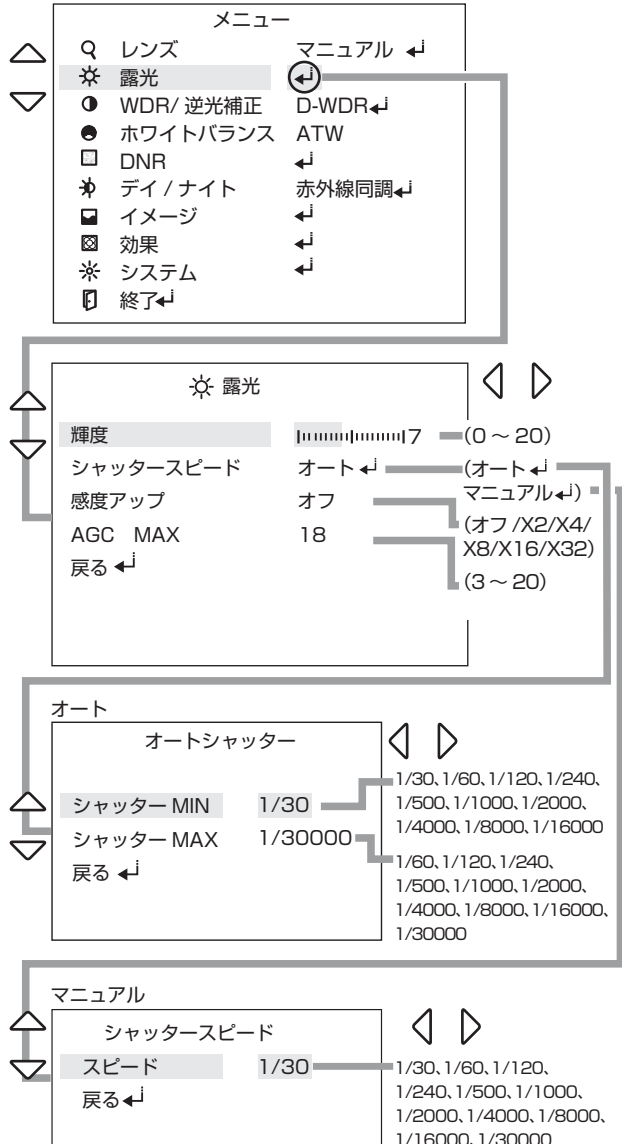
周囲条件の明るさの変化に対して画面の明るさが一定となるように露出補正の設定をします。



1. 決定ボタンを押す
⇒メニューを表示します。
2. 上下ボタンで
《露光》を選択
3. 決定ボタンを押す
⇒次の画面を表示します。
4. 上下ボタンで
《輝度》
《シャッタースピード》
《感度アップ》
《AGC MAX》
から選択
5. 左右ボタンで項目または
数値を選択
6. 決定ボタンを押し、
設定を確定します。

【設定を終えるには】
《戻る》
⇒前のメニューに戻ります。
《終了》
⇒設定を保存し終了します。

項目・数値は、お買い上げ時の
状態(初期値)です。



露光 ②

輝度

画面の明るさを調整します。0(暗)～20(明)

シャッタースピード

シャッタースピードを設定します。通常はオートで使します。

- オート(オートシャッター) シャッタースピードを自動で設定します。
シャッター MIN(最小値) 1/30 ～ 1/16000
シャッター MAX(最大値) 1/60 ～ 1/30000
- マニュアル オートで適応できない場合に設定します。1/30 ～ 1/30000

感度アップ

周囲が暗くなったときに光の量を自動調整する感度アップ機能の設定をします。
倍率を上げるほど、動きの速い物体の映像の識別が困難になります。

オフ / X2/X4/X8/X16/X32

※シャッタースピードがマニュアルの時は ___ 表示になり、設定変更はできません。

AGC MAX

朝夕など明るさが徐々に変化しても、映像信号の強弱を一定にし、映像を見やすく調整する AGC(オートゲインコントロール)のレベルを設定します。

シャッター値を変えずに明るさを変えることができます。3(暗)～20(明)

※数値を大きくすると暗い画面が明るい画面になりますが、ノイズも増加します。

戻る

メニュー画面に戻ります。

WDR/ 逆光補正 ①

逆光時などの明暗の差の激しい場合（白とびや黒つぶれ）に、暗い画像と明るい画像を処理して暗い部分を明るく、明るい部分を暗く補正し画面を見やすくします。
補正方法の選択と詳細設定をします。



1. 決定ボタンを押す
⇒メニューを表示します。
2. 上下ボタンで
《WDR/逆光補正》を
選択
3. 左右ボタンで
《D-WDR》《逆光補正》
《ハイライト補正》《オフ》
《WDR》
から選択
4. 決定ボタンを押す
⇒次の画面を表示します。
5. 左右ボタンで項目または
数値を選択
6. 決定ボタンを押し、
設定を確定します。

【設定を終えるには】

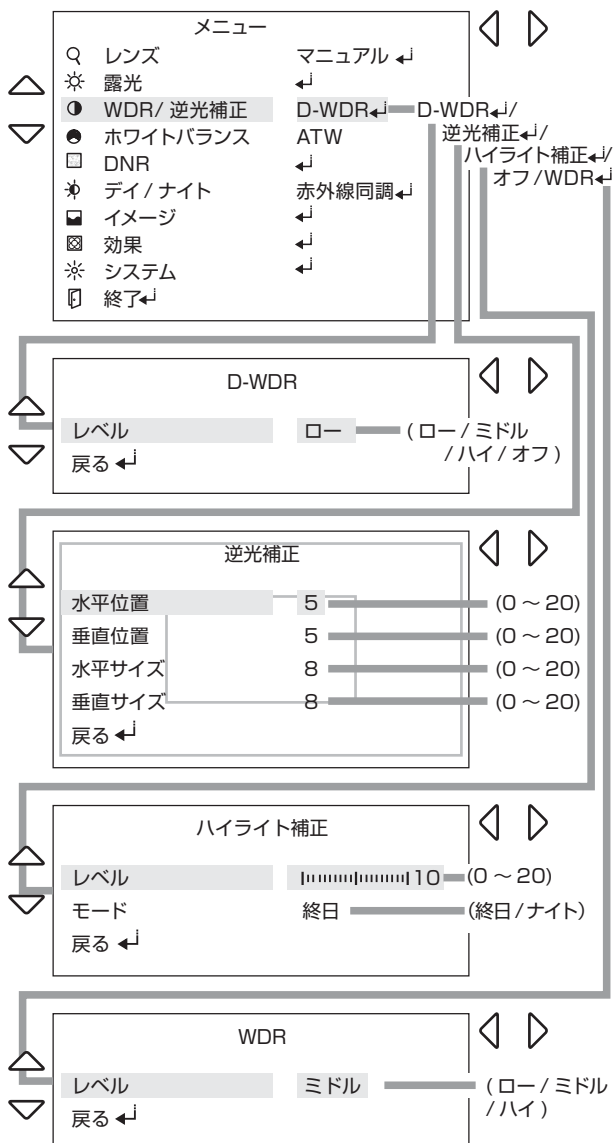
《戻る↵》

⇒前のメニューに戻ります。

《終了↵》

⇒設定を保存し終了します。

項目・数値は、お買い上げ時の
状態(初期値)です。



WDR/ 逆光補正 ②

D-WDR(デジタル ワイド ダイナミックレンジ)

逆光時など明暗差が大きい場合でも、自然に見えるように補正をします。

●レベル ロー / ミドル / ハイ / オフから選択します。

逆光補正 (BLC)

画面内の指定した部分の明るさを基準に明るさを補正したい場合に適しています。初期設定では画面中央を基準に一定の感度で逆光を補正しています。補正対象エリアを設定できます。

●水平位置 0 ～ 20 ●垂直位置 0 ～ 20

●水平サイズ 0 ～ 20 ●垂直サイズ 0 ～ 20

ハイライト補正(HSBLC)

車のヘッドライトなどの強烈な光を撮影し、光の反射で被写体の周囲が白くとんでしまうような場合に適しています。ヘッドライトで白くとんだ車のナンバープレートの識別などに有効です。ハイライト抑制逆光補正機能 (HSBLC) は設定されたエリア内で強い光を放つ部分にマスクすることで他の部分への反射を軽減させることができます。補正レベルの設定とモードの選択ができます。

●レベル 0 ～ 20 ●モード 終日 / ナイト

※車のナンバープレートの識別を保証する機能ではありません。

※周囲の環境によってはほとんど機能しない場合があります。

オフ

HDR/ 逆光補正機能を無効にします。

WDR(ハイダイナミックレンジ)

HDR による補正をします。

●レベル ロー / ミドル / ハイから選択します。

戻る

メニュー画面に戻ります。



逆光補正 OFF 時



逆光補正 ON 時



ハイライト補正 OFF 時



ハイライト補正 ON 時

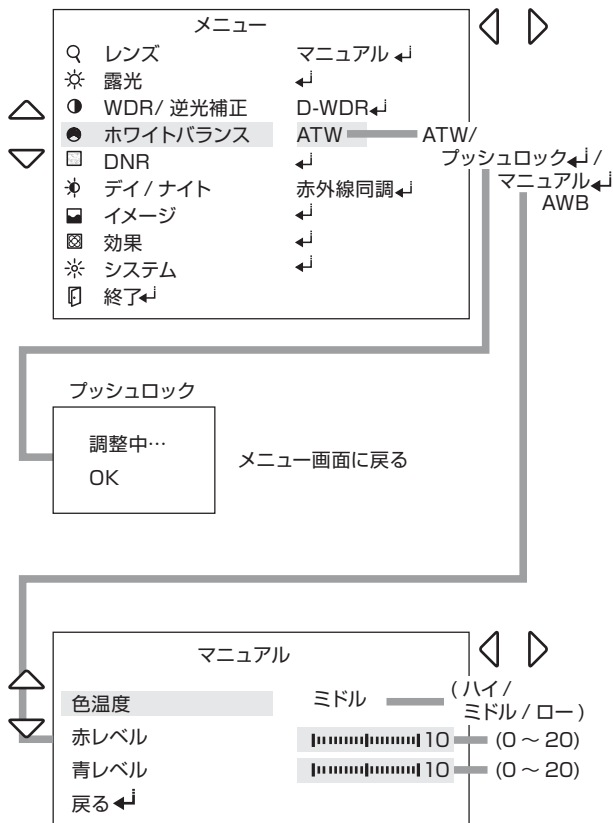
写真・イラストはイメージです。

ホワイトバランス ①

ホワイトバランス(光源による白の違いを補正)の方法の選択と詳細設定をします。



1. 決定ボタンを押す
⇒メニューを表示します。
2. 上下ボタンで
《ホワイトバランス》を
選択
3. 左右ボタンで
《ATW》
《プッシュロック》
《マニュアル》《AWB》
から選択
4. 決定ボタンを押す
⇒次の画面を表示します。
5. 左右ボタンで項目または
数値を選択
6. 決定ボタンを押し、
設定を確定します。



【設定を終えるには】

《戻る

⇒前のメニューに戻ります。

《終了

⇒設定を保存し終了します。

項目・数値は、お買い上げ時の
状態(初期値)です。

ホワイトバランス ②

ATW(オートトラッキングホワイトバランス)

ホワイトバランスを照度に応じて自動で追尾します。

※AWB より補正範囲が狭くなります。

プッシュロック

使用光源に応じた色温度にホワイトバランスをロックします。

以下のような環境でホワイトバランスが完全に調整できない場合に設定します。

- ・色温度が非常に高い環境の場合
- ・暗闇に囲まれている環境の場合
- ・常に光が変わるような蛍光灯環境の場合
- ・特定の色にかたよっている環境の場合

お使いの環境でカメラを白紙に向けて画面いっぱいにして映し、

決定ボタンを押します。設定に数秒かかります。

設定が完了するとメニュー画面に戻ります。

※条件が変化した場合は再調整が必要です。

マニュアル

手動でホワイトバランスを設定します。

- 色温度 ハイ / ミドル / ローから選択します。
- 赤レベル画面を見ながら値を増減して調整します。0 ～ 20
- 青レベル画面を見ながら値を増減して調整します。0 ～ 20

AWB(オートホワイトバランス)

撮影場所の環境(屋内、屋外、電球、夕日など)により色温度がそれぞれ異なり、肉眼では「白色」に見えてもカメラでは不自然な色に映る場合、より「白色」に見えるように自動補正します。

ATWで色調整がうまくいかない場合は AWB を使用してください。

※ATW より補正範囲が広がりますが、薄い色が白くなる場合があります。

戻る

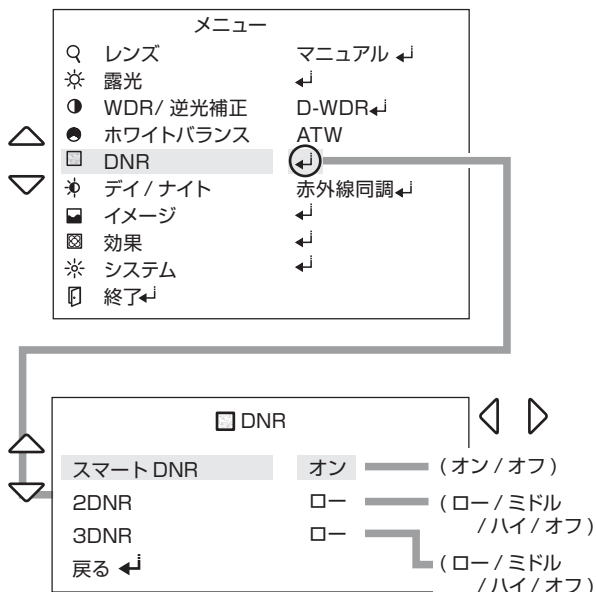
メニュー画面に戻ります。

DNR ①

夜間など低照度撮影時のノイズ（ざらつき）をデジタル処理によって低減させるDNR(デジタルノイズリダクション)機能の選択と設定をします。



- 1.決定ボタンを押す
⇒メニューを表示します。
- 2.上下ボタンで
《DNR》を選択
- 3.決定ボタンを押す
⇒次の画面を表示します。
- 4.上下ボタンで
《スマートDNR》
《2DNR》
《3DNR》
から選択
- 5.左右ボタンで項目を
選択
- 6.決定ボタンを押し、
設定を確定します。



【設定を終えるには】

《戻る ←》

⇒前のメニューに戻ります。

《終了 ←》

⇒設定を保存し終了します。

項目・数値は、お買い上げ時の
状態(初期値)です。

DNR ②

スマート DNR

ゲインレベルの変化に伴い、低照度環境下の背景ノイズを自動的に減少します。ノイズが減少すると映像の見た目の向上や、録画する場合にファイルサイズが小さくなるなどのメリットがあります。通常はオンで使います。

オン スマート DNR 機能を有効にします。

オフ スマート DNR 機能を無効にします。

※ノイズレベルが減少するとカメラ映像は見た目は向上しますが、多少輪郭が甘くなる場合があります。

2DNR

2DNR - 空間的ノイズを特定し抑制します。移動する被写体をより適切に映し出すため、視野内の移動する被写体に適用されます。

ロー / ミドル / ハイ / オフから選択します。

3DNR

3DNR - 平面的なノイズに加え、時間的なノイズを特定し抑制します。視野内の静止領域に適用されます。

ロー / ミドル / ハイ / オフから選択します。

戻る

メニュー画面に戻ります。

デイ/ナイト ①

明るい昼間は特徴を捉えやすいカラーで撮影し、暗くなると自動的に白黒映像に切替え撮影できる デイ & ナイト機能の選択と設定をします。



1. 決定ボタンを押す
⇒メニューを表示します。

2. 上下ボタンで
《デイ/ナイト》を選択

3. 左右ボタンで

《赤外線同調》

《カラー》

《B/W》

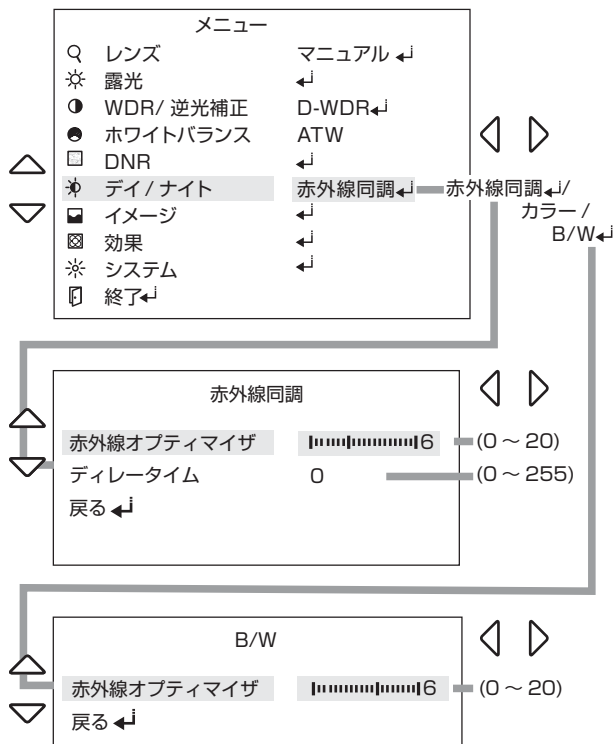
から選択

4. 決定ボタンを押す
⇒次の画面を表示します。

5. 左右ボタンで

数値を選択

6. 決定ボタンを押し、
設定を確定します。



【設定を終えるには】

《戻る ←》

⇒前のメニューに戻ります。

《終了 ←》

⇒設定を保存し終了します。

項目・数値は、お買い上げ時の
状態(初期値)です。

デイ/ナイト ②

赤外線同調

カメラ本体内部の照度センサーにより周囲の明るさを感じ、昼モード(カラー)と夜モード(白黒)の切替えをおこないます。

●赤外線オブティマイザ(スマート IR)

赤外線投光時の反射量を自動で分析し、カメラへ向かって人物が近づいてきた場合などでも白とびを抑えます。

赤外線の照射量を設定します。0(弱)～20(強)

●ディレータイム

昼／夜のモード切替えのタイミングの設定します。0(速)～255(遅)

●戻る

ひとつ前の設定画面に戻ります。

カラー

昼モード(カラー)の状態に固定します。赤外線は照射されません。

B/W

夜モード(白黒)の状態に固定します。暗くなると赤外線が照射します。

夜間、車のヘッドライトが一時的に画面に映りこむような場合、ヘッドライトが映りこむたびにカラー撮影に切替わることを防ぐことができます。

●赤外線オブティマイザ(スマート IR)

赤外線投光時の反射量を自動で分析し、カメラへ向かって人物が近づいてきた場合などでも白とびを抑えます。

赤外線の照射量を設定します。0(弱)～20(強)

●戻る

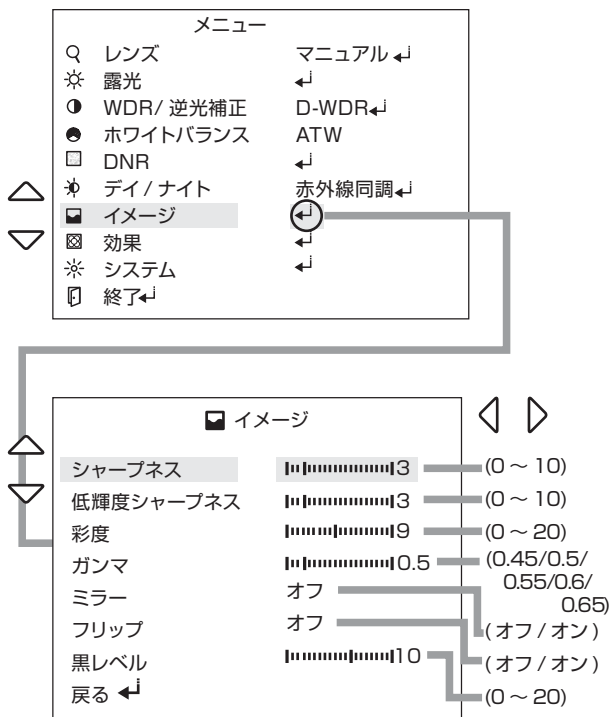
ひとつ前の設定画面に戻ります。

イメージ ①

シャープネスや彩度など画質の調整と上下反転や左右反転の画面の設定をします。



1. 決定ボタンを押す
⇒メニューを表示します。
2. 上下ボタンで
《イメージ》を選択
3. 決定ボタンを押す
⇒次の画面を表示します。
4. 上下ボタンで
《シャープネス》
《低輝度シャープネス》
《彩度》《ガンマ》
《ミラー》《フリップ》
《黒レベル》から選択
5. 左右ボタンで項目または
数値を選択
6. 決定ボタンを押し、
設定を確定します。



【設定を終えるには】

《戻る ↩》

⇒前のメニューに戻ります。

《終了 ↩》

⇒設定を保存し終了します。

項目・数値は、お買い上げ時の
状態(初期値)です。

イメージ ②

シャープネス

画像のコントラストを上げて輪郭がはっきり見えるよう、輪郭の強弱を調整します。
0(弱)～10(強) 数値が大きくなるほど輪郭がはっきりとなります。

低輝度シャープネス

画像が暗い時のコントラストを上げて輪郭がはっきり見えるよう、輪郭の強弱を調整します。0(弱)～10(強) 数値が大きくなるほど輪郭がはっきりとなります。

彩度

色の鮮やかさを調整します。
0(弱)～20(強) 数値が大きくなるほど色味が鮮やかになります。

ガンマ

ガンマ値を設定します。
0.45/0.5/0.55/0.6/0.65 色合いがより自然に近い数値を選択します。

ミラー

映像の左右反転を設定します。
オフ ミラーを無効にします。
オン ミラーを有効にします。

フリップ

映像の上下反転を設定します。
オフ フリップを無効にします。
オン フリップを有効にします。

黒レベル

全体に暗い環境下で映像の黒部分の明るさ(階調)を補正したい場合に調整します。
0(強)～20(弱)
数値を小さくすると階調が潰れて映像全体が平面的になります。
数値を大きくすると黒部分が明るくなり、コントラストが弱く締りのない映像になります。

戻る

メニュー画面に戻ります。

効果 ①

設定した画像範囲に動きがあると自動的にズームインするスマートズーム機能、映像の一部を隠しプライバシーに配慮するプライバシー機能、霧・雨などの天候の影響を少なくするfog緩和機能の設定をします。



1. 決定ボタンを押す
⇒メニューを表示します。
2. 上下ボタンで
《効果》を選択
3. 決定ボタンを押す
⇒次の画面を表示します。
4. 上下ボタンで
《スマートズーム》
《モーション》
《プライバシー》
《fog緩和機能》
から選択
5. 左右ボタンで項目を選択
6. 決定ボタンを押し、
設定を確定します。

【設定を終えるには】

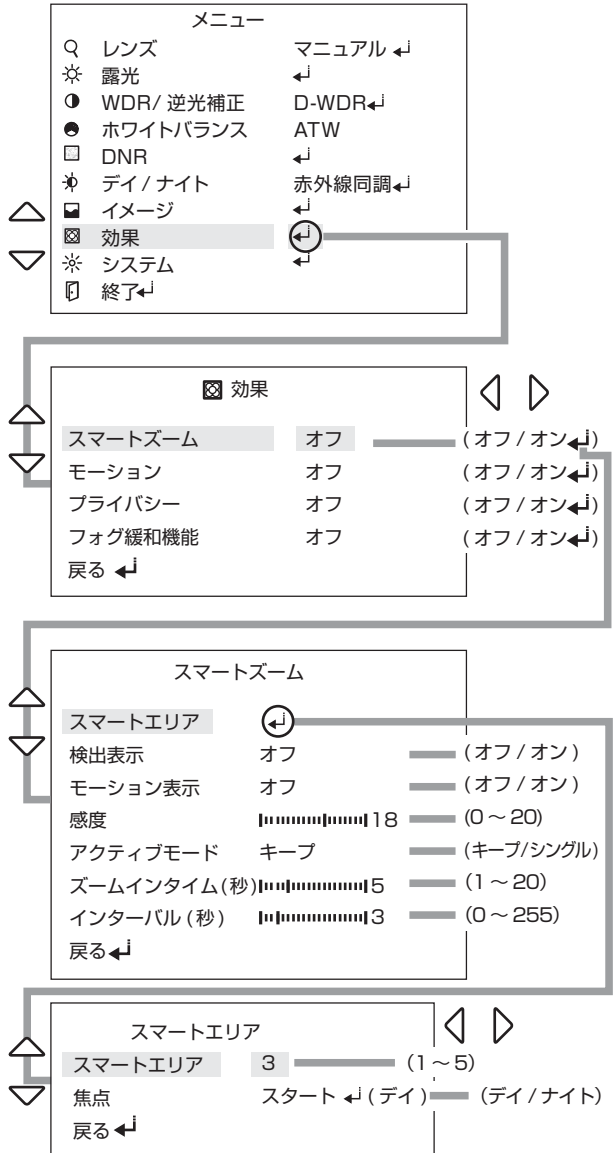
《戻る》

⇒前のメニューに戻ります。

《終了》

⇒設定を保存し終了します。

項目・数値は、お買い上げ時の
状態(初期値)です。

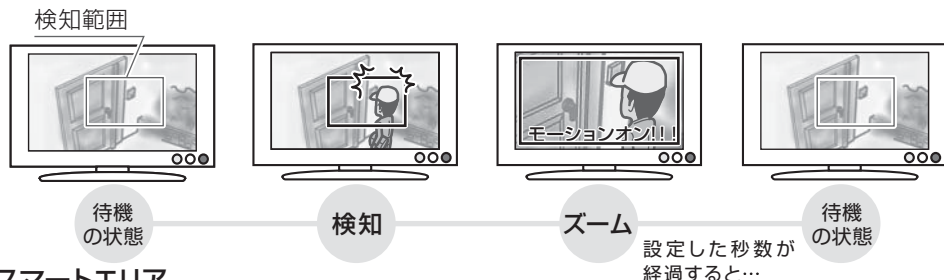


効果 ②

スマートズーム

動きを検知したときに設定した画像範囲を自動的にズームインします。

※《スマートズーム》と《モーション》はどちらか一方で《オン》を選択できます。



スマートエリア

- **スマートエリア** 動きを検知する範囲を選択します。
検知範囲は、映像画面中央になります。1(大)～5(小)
- **焦点** 「スタート」で決定ボタンを押すと設定がはじまります。
デイ/ナイトで別々に保存できます。
- **検出表示**
撮影範囲に動きがあった時に色(赤)でお知らせします。
オフ 検出表示を無効にします。
オン 検出表示を有効にします。
- **モーション表示**
撮影範囲に動きがあった時に“モーションオン!!!”と文字でお知らせします。
オフ モーション表示を無効にします。
オン モーション表示を有効にします。
- **感度**
モーションの検知感度を設定します。0(弱)～20(強)
- **アクティブモード**
キープ 動きがある間はズームをキープします。
シングル 動きがあってもズームインタイムで設定した秒数で元に戻ります。
- **ズームインタイム**
ズームインを継続する秒数を設定します。1(短)～20(長)
- **インターバル(秒)**
スマートズームの動作が1度終わった後から次にモーションに反応してスマートズームを実施できるまでの時間です。0(短)～255(長)
- **戻る**
ひとつ前の設定画面に戻ります。

写真・イラストはイメージです。

効果 ③

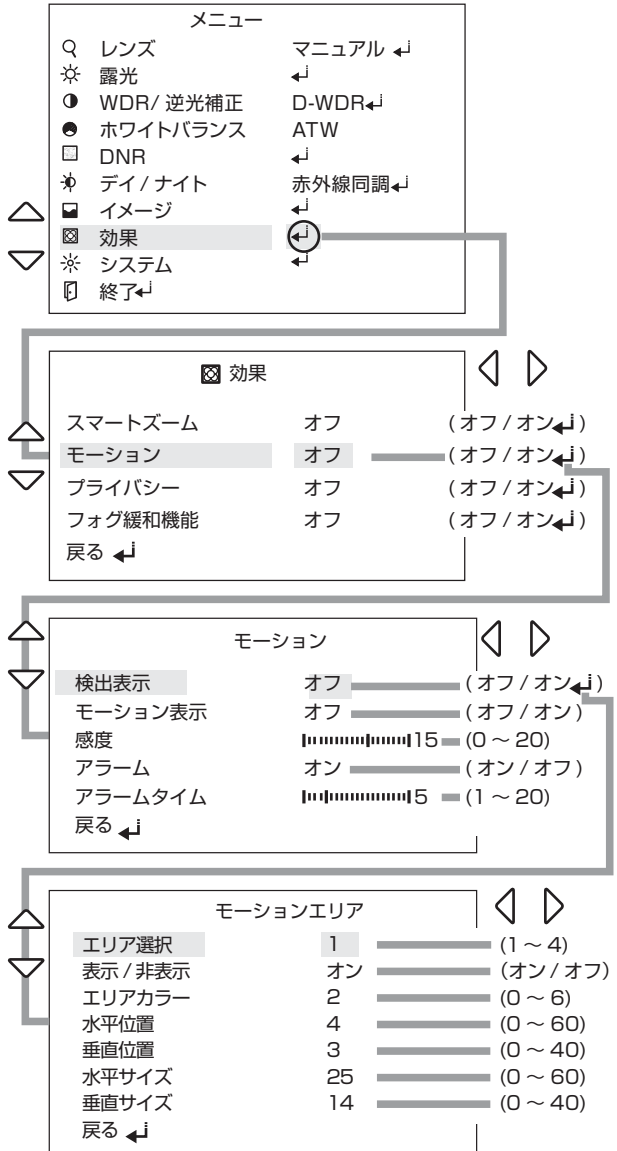
設定した画像範囲に動きがあると自動的にズームインするスマートズーム機能、映像の一部を隠しプライバシーに配慮するプライバシー機能、霧・雨などの天候の影響を少なくするfog緩和機能の設定をします。



1. 決定ボタンを押す
⇒メニューを表示します。
2. 上下ボタンで
《効果》を選択
3. 決定ボタンを押す
⇒次の画面を表示します。
4. 上下ボタンで
《スマートズーム》
《モーション》
《プライバシー》
《fog緩和機能》
から選択
5. 決定ボタンを押す
⇒次の画面を表示します。
5. 左右ボタンで項目または
数値を選択
6. 決定ボタンを押し、
設定を確定します。

【設定を終えるには】
《戻る↵》
⇒前のメニューに戻ります。
《終了↵》
⇒設定を保存し終了します。

項目・数値は、お買い上げ時の
状態(初期値)です。



効果 ④

モーション

動きを検知したときに文字でお知らせします。

※《スマートズーム》と《モーション》はどちらか一方で《オン》を選択できます。



● 検出表示

撮影範囲に動きがあった時に色（赤）でお知らせします。

検知エリアを4つのエリアでそれぞれ設定できます。

オフ 検出表示を無効にします。

オン 検出表示を有効にします。



● モーション表示

撮影範囲に動きがあった時に“モーションオン!!!”と文字でお知らせします。

オフ モーション表示を無効にします。

オン モーション表示を有効にします。

● 感度

モーションの検知感度を設定します。0(弱)～20(強)

● アラーム

本機では使用しません。

● アラームタイム

モーション検知時のお知らせを表示させる秒数を設定します。1(短)～20(長)

● 戻る

ひとつ前の設定画面に戻ります。

効果 ⑤

設定した画像範囲に動きがあると自動的にズームインするスマートズーム機能、映像の一部を隠しプライバシーに配慮するプライバシー機能、霧・雨などの天候の影響を少なくするfog緩和機能の設定をします。



1. 決定ボタンを押す
⇒メニューを表示します。
2. 上下ボタンで
《効果》を選択
3. 決定ボタンを押す
⇒次の画面を表示します。
4. 上下ボタンで
《スマートズーム》
《モーション》
《プライバシー》
《fog緩和機能》
から選択
5. 左右ボタンで項目を
選択
6. 決定ボタンを押し、
設定を確定します。

【設定を終えるには】

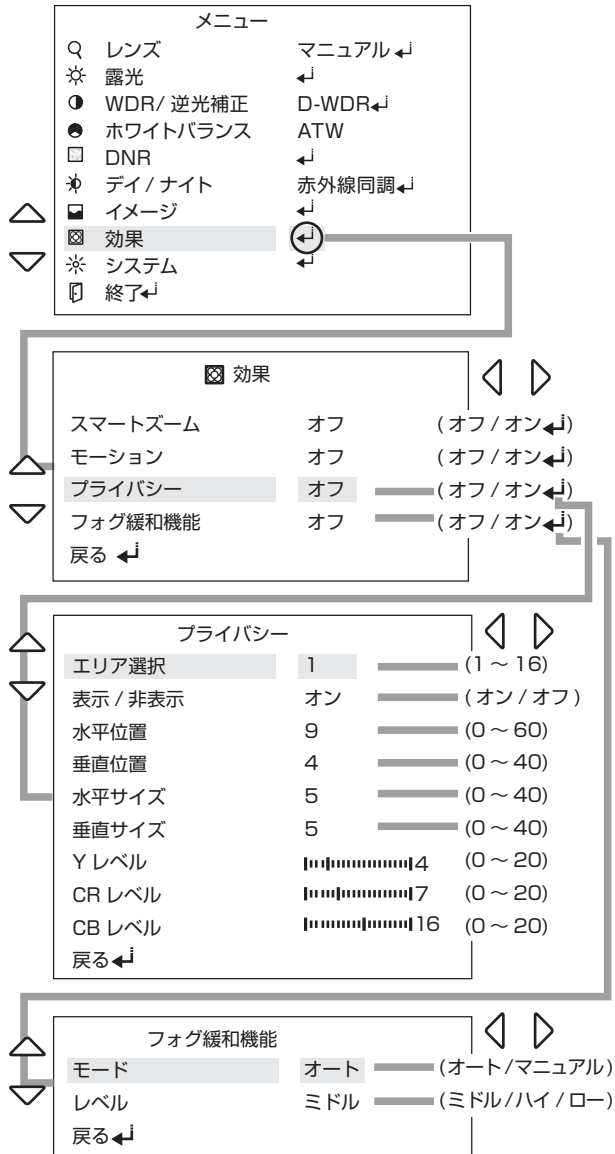
《戻る↩》

⇒前のメニューに戻ります。

《終了↵》

⇒設定を保存し終了します。

項目・数値は、お買い上げ時の
状態(初期値)です。



効果 ⑥

プライバシー

撮影範囲内でプライバシーを配慮したいエリアの撮影をおこなわない設定が可能です。



お隣の家の窓が映ってしまつて申し訳ないなあ…



これで OK !



●エリア選択

マスクをかけるエリアを選択します。エリアは最大 16 箇所まで設定できます。

●表示 / 非表示

マスクの表示 / 非表示を選択します。オン / オフ

●水平位置 / 垂直位置

マスクの位置を調整します。

水平方向 0(左) ~ 60(右) / 垂直方向 0(下) ~ 40(上)

●水平サイズ / 垂直サイズ

マスクの大きさを調整します。

水平方向 0(左) ~ 40(右) / 垂直方向 0(下) ~ 40(上)

●Y レベル マスクの輝度レベルの調整をします。0(小) ~ 20(大)

●CR レベル マスクの赤色のレベルを調整します。0(小) ~ 20(大)

●CB レベル マスクの青色のレベルを調整します。0(小) ~ 20(大)

●戻る ひとつ前の画面に戻ります。

フォグ緩和機能

霧や雨などによる影響(低コントラスト映像)を補正します。

●モード オート / マニュアルから選択します。

●レベル ミドル / ハイ / ローから選択します。

●戻る ひとつ前の画面に戻ります。

戻る

メニュー画面に戻ります。

システム ①

解像度やフレームレートの切替、カメラをお買い上げ時の状態(初期値)にします。



1. 決定ボタンを押す
⇒メニューを表示します。
2. 上下ボタンで
《システム》を選択
⇒次の画面を表示します。
3. 決定ボタンを押す
⇒次の画面を表示します。
4. 上下ボタンで
《デジタル出力》
《フレームレート》
《アナログ出力》
《アナログ信号》《DVR》
《ケーブル長》《カラーバー》
《言語》《カメラ初期化》
から選択
5. 左右ボタンで項目を選択
6. 決定ボタンを押し、設定を確定します。

- 【設定を終えるには】
《戻る←》
⇒前のメニューに戻ります。
《終了←》
⇒設定を保存し終了します。

項目・数値は、お買い上げ時の状態(初期値)です。

メニュー

Q レンズ	マニュアル ←
☀ 露光	←
● WDR/ 逆光補正	D-WDR ←
● ホワイトバランス	ATW
□ DNR	←
☾ デイ/ ナイト	赤外線同調 ←
■ イメージ	←
☒ 効果	←
※ システム	←
🏠 終了 ←	

※システム

デジタル出力	1080P	(1080P/720P)
フレームレート	30FPS	(1080P=25FPS/30FPS)
アナログ出力	NTSC	(720P=25FPS/30FPS)
DVR	←	(NTSC/PAL)
ケーブル長	0-200M	(0-200M/200M)
カラーバー	オフ	(オン / オフ)
言語	日本語	日本語 / ENGLISH / 繁中 / 簡中
FW 3.3 AHC3D 170405398NFJJC04		
カメラ初期化	NO	(NO/YES ←)
戻る ←		

DVR

DVR	11	(11, 3A, 4H)
輝度	7	(0 ~ 20)
シャープネス	3	(0 ~ 10)
彩度	9	(0 ~ 20)
ガンマ	0.5	(0.45/0.5/0.55/0.6/0.65)
黒レベル	0	(0 ~ 20)
プロトコル	PELCO D-1(UTC)	(PELCO D-1(UTC)/ PELCO D-2/AHD-C)
COC	オン	オン / オフ
戻る ←		

システム ②

デジタル出力

動画の解像度を設定します。

1080P (解像度が高い) / 720P 通常は 1080P で使用します。

フレームレート

動画のフレームレート(FPS)を設定します。

アナログ信号

必ず NTSC 信号を選択してご使用ください。

DVR

- **DVR** モデルを選択し、それに対応する設定をします。1I/3A/4H
- **輝度** 明るさを調整します。0(小)～20(大)
- **シャープネス** 輪郭の強弱を調整します。0(小)～10(大)
- **彩度** 色の鮮やかさを調整します。0(小)～20(大)
- **ガンマ** ガンマ値を設定します。0.45/0.5/0.55/0.6/0.65
- **黒レベル** 黒レベルを調整します。0(小)～20(大)
- **プロトコル** 対応する機器に合わせて設定します。PELCO D-1(UTC)/PELCO D-2/AHD-C
- **COC** 本機では使用しません。
- **戻る** ひとつ前の画面に戻ります。

ケーブル長

伝送距離を選択します。

カラーバー

色見本です。

言語

日本語 / ENGLISH / 繁体中 / 簡体中の中から選択します。

FW

ファームウェアのバージョンを表示します。

カメラ初期化

本体の設定をお買い上げ時の状態(初期値)にします。

戻る

メニュー画面に戻ります。

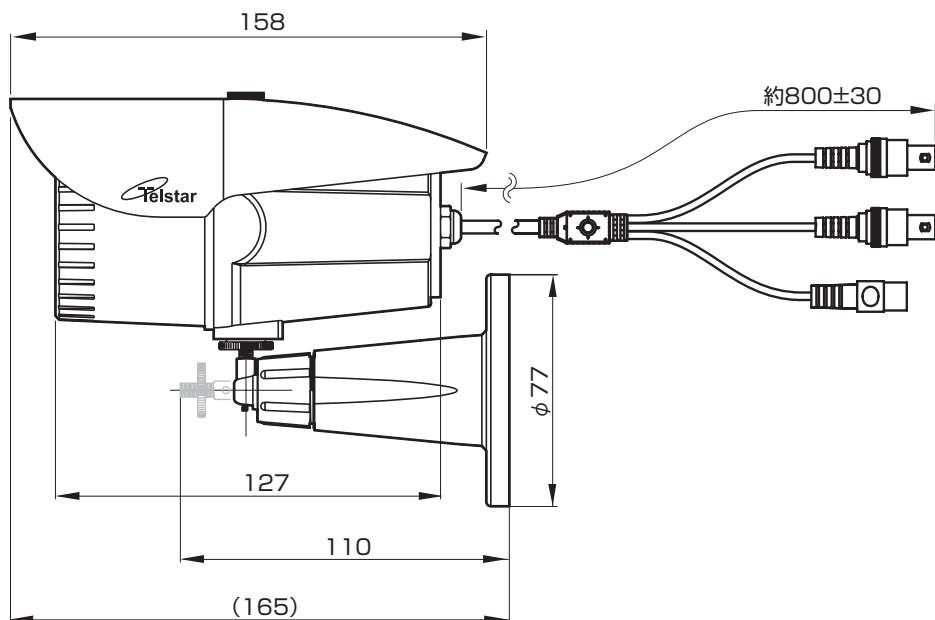
仕様

撮像素子	SONY 2.4M CMOS センサー搭載
画素数	200 万画素
解像度	1920x1080
走査方式	プログレッシブスキャン
水平解像度	1000TVL
OSD	○
UTC 機能	○
逆光補正機能	D-WDR、逆光補正、ハイライト補正、オフ、WDR
WDR(ワイドダイミックス補正)機能	ロー、ミドル、ハイ、オフ
ホワイトバランス	ATW、プッシュロック、マニュアル、AWB
DNR(デジタルノイズリダクション)	スマート DNR、2DNR、3DNR
オートゲインコントロール機能	レベル調整可
最低被写体照度	0.1lux (B/W 時 0.06lux、IR 照射時 0lux)
赤外線投光距離	15 ～ 20m
スマート IR	○
デイ/ ナイト	赤外線同調、カラー、B/W ※IR カットフィルター自動切替え
フリッカレス機能	—
ズーム機能	○
防水性能	IP66 相当
マイク内蔵	—
レンズ / 水平画角	f=3.0mm ～ 10.5mm/ 約 89° ～ 34°
映像出力	AHD2.0、CVBS(コンポジット 1.0Vp-p75)
言語	日本語、ENGLISH、繁中、簡中
その他機能	
動作温度・湿度	-5℃～ 40℃・ 80% 以下
電源・消費電力	DC12V・最大 7.8W(650mA)
本体ケーブル長	約 80cm
天吊り対応	○
カメラ側コネクター	BNC、DC
付属品	シェード×1、ブラケット×1、AC アダプター×1、防犯ステッカー×1、十字キーボタンカバー×1、取扱説明書×1、テンプレート×1、クリーニングクロス×1、取付ネジ×3、コンクリートアンカー×3、六角レンチ×1
外形寸法	80×133×165mm
重量	約 470g

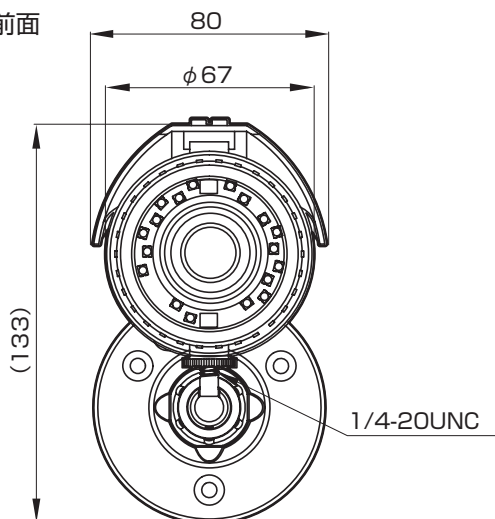
製品の的外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。

外形寸法図

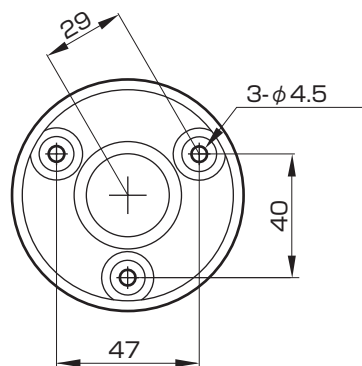
側面（壁面に設置した状態）



前面



ブラケット



(寸法単位：mm)

別売りオプション

(2018年1月現在)

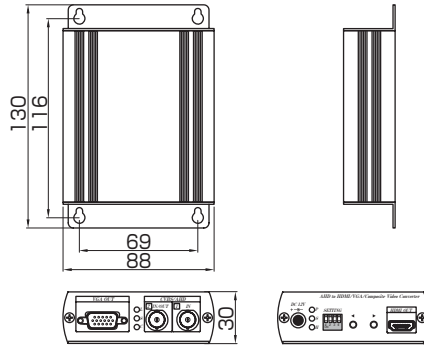
AHD コンバーター CV-H2213P

オープン価格

JAN コード 4986778572634

■セット内容

- 本体×1
- ACアダプター×1
- 取付ネジ×4
- コンクリートアンカー×4
- 取扱説明書 (保証書付)×1



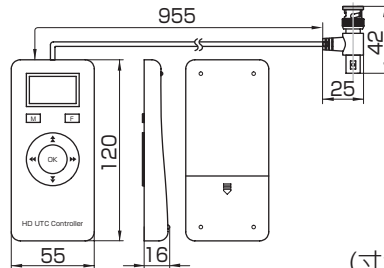
AHD 用 UTC コントローラー UT-H02

オープン価格

JAN コード 4986778573174

■セット内容

- 本体×1
- 単4形電池×2
- 取扱説明書 (保証書付)×1



(寸法単位: mm)

カメラ (映像・電源) ケーブル

ケーブル / 10m

C-H10VP

オープン価格

JAN コード 4986778572658

ケーブル / 20m

C-H20VP

オープン価格

JAN コード 4986778572665

ケーブル / 30m

C-H30VP

オープン価格

JAN コード 4986778572672

※接続ケーブルの最大延長距離は約40mです。

オプションやアクセサリーについて
詳しくはコロナダイレクトへ



困ったとき ①

こんなとき
(症状など)

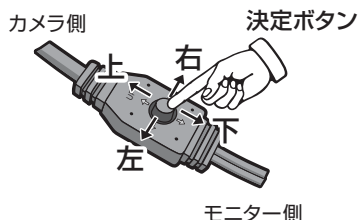
原因と対応

勝手にメニュー画面が出てきてしまった。

- メニュー画面は決定ボタンを押すと出てきます。
メニュー画面を終了するとカメラ画面に戻ります。

カメラの十字キーボタンを
使用した場合

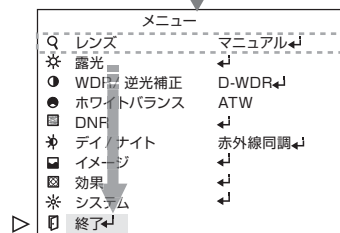
UTCコントローラー (別売) を
使用した場合



1. 上下ボタンで
《終了》を選択
2. 決定ボタンを押す
⇒カメラ画面に戻ります。

▶18ページ

メインメニュー



色々操作したら
設定がわからなくな
った。

- カメラの設定をお買い上げ時の状態 (初期値) に戻します。
→ “システム” → “カメラ初期化” → “YES”

▶40ページ

メニュー画面の
操作が動かなくな
ってしまいました。

- カメラの電源の抜き差しをします。
カメラの設定をお買い上げ時の状態 (初期値) に戻します。
→ “システム” → “カメラ初期化” → “YES”

▶40ページ

写真・イラストはイメージです。

困ったとき ②

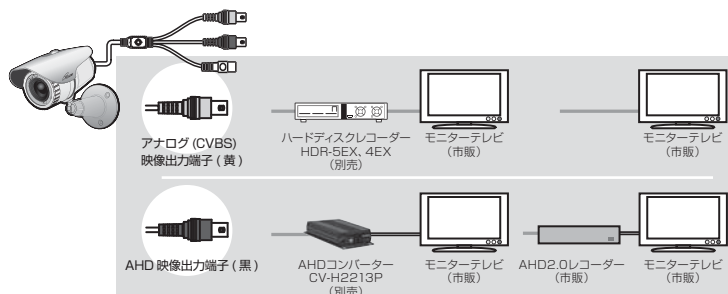
こんなとき
(症状など)

原因と対応

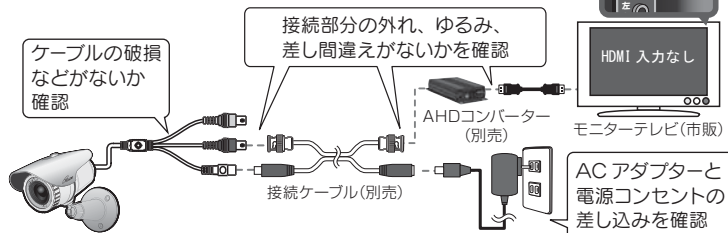
映像が映らない



- カメラのケーブルのつなぎ間違えがないかご確認ください。



- 接続ケーブルがしっかり接続されているか、もう一度ご確認ください。
- 映像出力端子が音声端子に接続されているなど、間違って接続されていないか、もう一度ご確認ください。
- モニターテレビの入力画面が、接続したHDMI入力番号になっているかをご確認ください。モニターテレビのリモコン上の「入力切替」ボタンで入力を切替えることができます。※詳しくはモニターテレビの取扱説明書をご確認ください。



映像が暗い

- “露光” → “輝度” の値が低く設定されていませんか？
→ 適切な値に調整してください。

▶22ページ

映像がちらつく

- 電源周波数が50Hzの地域の場合、蛍光灯、LED、水銀灯の下で撮影すると画面にちらつきが発生することがあります。

画面の色みが
おかしい

- “ホワイトバランス” で設定をなおしてください。

▶26ページ

明るい場所でも
映像が白黒に
なる

- “デイ/ナイト” を “B/W” にしている場合、白黒撮影に切り換わります。
白黒映像にたくない場合は
→ “デイ/ナイト” を “赤外線同調” か “カラー” にしてください。

▶30ページ

写真・イラストはイメージです。

困ったとき ③

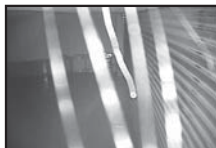
こんなとき
(症状など)

原因と対応

暗視映像が白っぽくなったり、ボケてみえる

- フロントガラスの表面に汚れが付着しますと、照射された赤外線が反射するため、暗視映像が白っぽくなったり白くぼやけた物体が映ることがあります。それらの症状を防ぐためにも定期的にレンズの掃除をしてください。

蜘蛛の巣がある状態



蜘蛛の巣をとった状態



汚れている状態

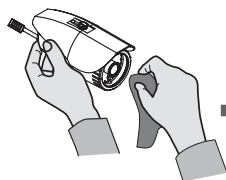


汚れを取り除いた状態

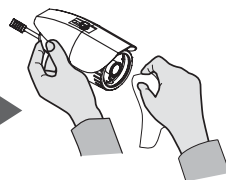


掃除の手順

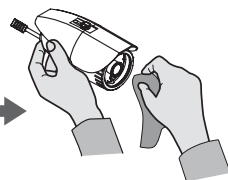
レンズにキズがつかないように、必ず柔らかい布を使用します。



乾いた布でホコリを落としてください。



中性洗剤(1~2%の水溶液)を含んだ布で汚れを拭いてください。



乾いた布で、しっかりと水分を拭き取ってください。

購入・設置したばかりなのに夜間の映像だけほとんど真っ暗

- 軒や壁面に赤外線が反射し白とび状態になると、その先の映像はほとんど真っ暗になる場合があります。カメラの向きを調整するか、場合によってはカメラの設置場所を変更してください。

アナログ(CVBS)映像のメニュー設定が変更できない

- アナログ(CVBS)出力端子に接続した映像は十字キーボタンでのみ変更できます。

写真・イラストはイメージです。

保証書

お客様へ

この度は弊社製品をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。本保証書は右記の条件に従い、下記製品に対する保証サービスをご提供申し上げるものです。記入事項に記載のない保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認の上、記入漏れの事項がありましたら、直ちにお買い上げの販売店にお申し付けください。本保証書は、再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

販売店様へ

本保証書は、所定事項を記入して効力を発揮するものです。必ず、お買上日・貴販売店名・ご住所・電話番号をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。



- 本製品は日本国内での使用を前提とするもので海外ではご使用にできません。
- 本製品は緊急事態などを未然に防ぐ装置ではありません。
- 本製品の故障、通信の不具合などによって発生した損害について当社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

保証規定

正常なご使用状態のもとで保証期間内に万が一故障した場合は、保証規定にしたがって無料にて故障の修理をさせていただきます。保証期間はお買い求めになった日より1年間です。次のような場合には、保証期間内でも有償修理となります。

- a. 本製品の説明書に記載された使用方法および注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障・損傷の場合。
- b. お買い上げ後の輸送や振動、落下、衝撃などお取扱いが不適当なため生じた故障・損傷の場合。
- c. 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地災、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用などにより生じた故障・損傷の場合。
- d. 接続している他の機器、その他外部要因に起因して生じた故障・損傷の場合。
- e. 不適当な改造、調整、部品交換などをされたことにより生じた故障・損傷の場合。
- f. 本保証書の提示がない場合。
- g. 本保証書の所定事項に未記入、あるいは字句を書き換えられている場合。
- h. 本保証書に販売店印のない場合。

本製品の故障・損傷、またはその使用中に生じた直接または間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

弊社では出張修理は対応しておりません。

保証期間経過後の修理、アフターサービスなどについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはサービス実施店へお問合せください。

1年間保証

お買い求めの販売店でご購入の年月日と販売店名を記入いただくか、販売証明書などをごらってください。

お客様

ご住所

お名前

電話番号 ()

販売店

住所

お買い上げ年月日 年 月 日

店名

電話番号 ()

印

機種名

TR-H210VZ



コロナ電業株式会社 <http://www.corona-dengyo.co.jp>